日本機械学会 核融合設備規格

超伝導マグネット構造規格改定版

目 次

FM-1000 一般要求事項	
FM-1100 一般事項 ····································	-]
FM-1110 適用	-]
FM-1120 適用境界	-]
FM-1121 超伝導マグネットの範囲1	-]
FM-1122 荷重を伝達する支持構造物1	-]
FM-1123 取付物1	-]
FM-1130 適用年版 ····································	-3
FM-1131 マグネット規格の適用年版	-3
FM-1132 準用する規格の適用年1	-3
FM-1140 規格の改訂 1	-3
FM-1200 負荷の取扱い 1	-3
FM-1210 負荷条件 1-	-3
FM-1220 リミットセット 1-	-4
FM-1221 リミットセット11	-4
FM-1222 リミットセット 2	-4
FM-1223 リミットセット 31	-4
FM-1224 機器のリミットセット1	-4
FM-1230 負荷条件および運転性の考慮1	-4
FM-1240 設計負荷条件1	-5
FM-1250 試験負荷条件1	-5
FM-1260 試験における制限	-5
FM-1300 役割、責任および適合性	-5
FM-1310 役割および責任1	-5
FM-1311 所有者····································	-5
FM-1312 製造者·······1	-6
FM-1313 建設者·······1	-7
FM-1314 有資格検査員1	-7
EM 1215 相故事明エンバジーア	_

FM-1320 i	適合性	1-7
FM-1321	設計仕様書	1-7
FM-1322	設計報告書	1-8
FM-1323	製造仕様書	1-8
FM-1324	据付仕様書	1-8
	製品報告書(データレポート)	
FM-1400	品質保証	1-8
FM-1410		
FM-1420	範囲と適用	
FM-1430	実施	
FM-1440	品質保証プログラム	
FM-144	·	
FM-144		
	41.15 不適合品の管理 41.16 是正処置	
	+1.16 定正处直	
	+1.17	
1'1V1-144	+1.10	1-13
FM-2000 材	オーメニレ	
	-般要求事項······	2_1
	- プログス (4) - R 使用可能な材料	
	材料の追加試験	
	材料供給組織による証明	
	材料の識別	

FM-2140 2	基準寸法および公差	2-2
FM-2200 構	造材料に関する特別要求事項	2-2
FM-2210 村	幾械試験要求	2-2
FM-2211	極低温強度要求	2-2
FM-221	1.1 製造仕様書に極低温での強度の規定値がある場合	2-2
FM-221	1.2 材料規格に規定された熱処理以外の熱処理を製造時に受ける場合	2-3
FM-2212	極低温靱性要求	2-3
FM-221	2.1 製造仕様書に極低温での靱性の規定値がある場合	2-3
FM-221	2.2 材料規格に規定された熱処理以外の熱処理を製造時に受ける場合	2-4
FM-2220 \$	非破壞試験要求	2-4
FM-2221	超音波探傷試験	2-4
FM-2222	浸透探傷試験	2-6
FM-2223	補修	2-6
FM-2300 ボ	ルト材料に関する特別要求	2-6
FM-2310 村	幾械試験要求	2-6
FM-2320 3	非破壞試験要求	2-6
FM-2321	超音波探傷試験	2-6
FM-2322	浸透探傷試験	2-6
FM-2323	補修	2-6
FM-2400 ジ	ャケット材料に関する特別要求	2-6
FM-2410 村	幾械試験要求	2-7
FM-2411	極低温強度・延性要求	2-7
FM-241	1.1 製造仕様書に極低温での強度の規定値がある場合	2-7
FM-241	1.2 材料規格に規定された熱処理以外の熱処理を製造時に受ける場合	2-7
FM-2420 3	非破壞試験要求	2-7
FM-2421	超音波探傷試験、渦流探傷試験または放射線透過試験	2-7
FM-2422	浸透探傷試験	2-8
FM-2423	補修	2-8
FM-2500 電	気接続部材料に関する特別要求	2-8
FM-2510 村	幾械試験要求	2-8
FM-2511	極低温強度・延性要求	2-8
FM-251	1.1 製造仕様書に極低温での強度の規定値がある場合	2-8
FM-251	1.2 材料規格に規定された熱処理以外の熱処理を製造時に受ける場合	2-9
FM-2520 非	破壞試験要求	2-9
FM-2521	補修	2-9
FM_2600	按材料に関する特別画表	2_0

FM-2610 機械試験要求	2-9
FM-2611 極低温強度要求	2-9
FM-2611.1 製造仕様書に極低温での強度の規定値がある場合	2-9
FM-2611.2 熱処理を製造時に受ける場合	2-10
FM-2612 極低温靱性要求	2-10
FM-2612.1 製造仕様書に極低温での靱性の規定値がある場合	2-10
FM-2612.2 製造時に熱処理を受ける場合	2-11
FM-2700 設計で使用する材料データ	2-12
FM-2710 設計降伏強さおよび設計引張強さ	2-12
FM-2720 その他の特性	2-12
FM-3000 設計	
FM-3100 設計一般	
FM-3110 荷重······	
FM-3111 荷重条件	
FM-3112 荷重サイクル	
FM-3120 設計応力強さの値	
FM-3130 変形限界	
FM-3140 特別な考慮事項	
FM-3141 電気絶縁材料	
FM-3142 リミットセット 1~3 を超える評価が必要な場合に対する要	
FM-3150 内圧を受けるジャケットおよびヘリウム配管に対する特別要	
FM-3151 範囲	
FM-3152 内圧を受けるジャケットの最小必要厚さ	
FM-3152.1 記号の定義	
FM-3152.2 許容応力の決定	
FM-3152.3 内圧を受ける直管	
FM-3152.4 内圧を受ける曲がり管	
FM-3200 解析による設計	
FM-3210 設計基準	
FM-3211 応力を決める基準	
FM-3212 弾性応力解析に関する用語	
FM-3212.1 応力強さ	
FM-3212.2 局部的構造不連続性	
FM-3212.3 垂直応力	
FM-3212.4 せん断応力	3-4

FM-3212.5 膜応力······	3-4
FM-3212.6 曲げ応力······	3-4
FM-3212.7 一次応力	3-4
FM-3212.8 二次応力	3-4
FM-3212.9 一次局部膜応力	3-5
FM-3212.10 ピーク応力	3-5
FM-3212.11 荷重制御型応力	3-6
FM-3212.12 熱応力	3-6
FM-3212.13 運転サイクル	3-6
FM-3212.14 応力サイクル	3-6
FM-3212.15 疲労強度減少係数	3-6
FM-3212.16 熱膨張応力	3-7
FM-3212.17 ラチェット	3-7
FM-3213 弹性応力解析	3-7
FM-3214 応力差の算出	3-7
FM-3214.1 主応力の方向が変化しない場合	3-7
FM-3214.2 主応力の方向が変化する場合	3-7
FM-3215 応力の分類	3-8
FM-3216 材料特性	3-8
FM-3220 ボルト以外の応力制限	3-8
FM-3221 一般·····	3-8
FM-3221.1 一次一般膜応力強さ	3-8
FM-3221.2 一次局部膜応力強さ	3-9
FM-3221.3 一次膜応力+一次曲げ応力強さ	3-11
FM-3221.4 一次+二次応力強さ	3-11
FM-3221.5 試験時の負荷条件で発生する荷重	3-11
FM-3230 座屈に対する安定性解析	3-12
FM-3231 座屈解析	3-12
FM-3240 変形に対する解析	3-12
FM-3250 繰返し運転に対する解析	3-12
FM-3251 疲労評価の考え方	3-12
FM-3252 ピーク応力強さ	3-13
FM-3253 繰返し荷重に対する解析手順	3-13
FM-3253.1 降伏強さを超える応力の補正	3-13
FM-3253.2 簡易弹塑性評価	3-13
FM-3253.3 疲労強度減少係数の決定	3-14

FM-3253	3.4 評価手順	3-14
FM-3254	熱応力ラチェット	3-14
FM-3260 华	寺別な応力制限と要求事項	3-15
FM-3261	支圧応力	3-15
FM-3262	純せん断	3-15
FM-3263	非一体型接合部の進行性ゆがみ	3-15
FM-3264	三軸応力	3-16
FM-3265	予荷重	3-16
FM-3270	極限解析	3-16
FM-3271	極限解析に関する用語	
FM-327		
FM-327		
FM-327	7,7,7,4,4,1,4,2	
FM-3272	極限解析の手順	
FM-3272		
FM-3280	ボルトの応力制限	
FM-3281	設計応力強さ S _{mb} ······	
FM-3282	応力強さ制限	
FM-3283	荷重条件に対する応力強さ制限	
FM-3283		
FM-3283		
FM-3284	繰返し運転に対する適合性	
	予荷重を保持するためのボルト設計	
	受計の詳細	
	支持構造物以外の取付物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	溶接継手の設計	
	FMYJJ1 を用いた溶接継手の許容応力	
	マグネット構造物の耐圧部および非耐圧部継手	
	支持構造物および取付物の継手	
	マグネット支持脚に関する要求事項	
FM-3331		- 3-22

FM-4000 製作 FM-4100 一般要求事項 ············ 4-1 FM-4120 材料および製作の責任を持つ事業体による認証 4-1 FM-4121 一般事項 ················· 4-1 FM-4121.1 材料の処理、試験および非破壊試験の認証......4-1 FM-4121.2 引張または衝撃試験の再試験4-1 FM-4121.3 機械加工後の表面非破壊試験の再試験4-1 FM-4122.1 製造者・建設者以外のものによるマーキングの移し替え......4-2 FM-4123 溶接材料の試験......4-2 FM-4131 表面欠陥の除去......4-2 FM-4134 溶接により補修の完了した表面の非破壊試験 4-3 FM-4200 成形、開先合せおよび位置合せ......4-3 FM-4201.2 板およびその他の材料の切断 4-4 FM-4210 切断、成形および曲げ加工…………………………4-4 FM-4211 製作後材料の最小厚さ 4-4 FM-4221 公差····················4-4 FM-4221.1 最大誤差··························-4-4 FM-4221.2 規定公差からの逸脱.......4-5 FM-4232 両側溶接する部材の位置合せに関する要求......4-5 FM-4233 内側表面または外側表面にアクセスできない場合の位置合せ要求 4-5 FM-4233.1 ジャケットに対する特別要求4-6 FM-4234 溶接される表面の洗浄 ··················· 4-6

FM-4240 溶接製作に関する要求事項.......4-6

FM-424	0.1 アクセスが制限される場所での突合せ片側溶接に関する要求事項	4-6
FM-4241	外部荷重がかからない位置	4-6
FM-4242	突合せ溶接の溶込みと余盛り	4-7
FM-4243	すみ肉溶接継手	4-8
FM-424	3.1 品質要求事項	4-9
FM-4244	TFコイルのヘリウム導入部を取付ける溶接	4-9
FM-4245	非構造部を取付ける継手	4-9
FM-4246	溶接金属による表面肉盛り	4-9
FM-424	6.1 施工法の確認	4-9
FM-424	6.2 試験要求事項	4-9
FM-4300 溶	接確認	4-9
FM-4310	一般要求事項	4-9
FM-4311	許容される溶接法	4-9
FM-4312	溶接確認ならびに溶接士および溶接オペレータ認証に関する制限事項	··· 4-10
FM-4313	溶接施工法確認に用いる材料に関する要求事項	··· 4-10
FM-4314	溶接施工法確認に用いる材料板厚に関する特別要求	··· 4-10
FM-4320	容接確認、記録および識別	··· 4-10
FM-4321	製造者・建設者の責任	··· 4-10
FM-4322	確認試験の適用限界	4-11
FM-4323	認証記録および溶接記録の保持	4-11
FM-432	3.1 継手に対する溶接士または溶接オペレータによる識別	4-11
FM-432	3.2 確認前の溶接	··· 4-12
FM-432	3.3 認証の移譲	··· 4-12
FM-4330	容接施工法確認試験に関する一般要求事項	··· 4-12
FM-4331	溶接施工法の確認	··· 4-12
FM-4332	溶接士および溶接オペレータの認証試験	··· 4-12
FM-4333	確認試験体の作成および試験材、試験片の準備	··· 4-13
	肉盛溶接における溶接金属の認証要求	
	非破壊試験が制限される片側突合せ溶接に関する確認要求	
	一般要求事項	
	自動溶接における必須溶接パラメータ	
	手溶接における必須溶接パラメータ	
	モックアップ試験体	
	モックアップ試験における非破壊試験	
	技量認証試験	
FM_4400	接の施工や トイト液接部の補修に関する相定	1-15

FM-4410 溶接前に講ずるべき予防措置	4-15
FM-4411 溶接材料の識別、保管および取り扱い	4-15
FM-4412 溶接の最低許容温度	4-16
FM-4413 溶接する表面の洗浄	4-16
FM-4420 溶接継手製作に関する規定	4-16
FM-4421 裏当て金	4-16
FM-4422 ピーニング	4-16
FM-4423 両側溶接継手および片側溶接継手	4-16
FM-4423.1 両側溶接継手	4-16
FM-4423.2 片側溶接継手	4-16
FM-4424 溶接部の表面	4-17
FM-4425 厚みの異なる部材の溶接	4-17
FM-4426 溶接部の余盛り	4-17
FM-4427 すみ肉溶接の形状および大きさ	4-17
FM-4430 取付物の溶接······	4-19
FM-4431 構造部に取り付けられる材料	4-19
FM-4432 部品に付く小型取付物の材料	4-19
FM-4433 非構造部材に溶接される取付物の材料	4-19
FM-4434 構造部への取付溶接の形式	4-19
FM-4435 構造要素でない、一時的な取付物の溶接および取り外し	4-20
FM-4440 その他の溶接に関する特別な要求事項	4-20
FM-4441 板の厚み方向に作用する荷重	4-21
FM-4450 溶接金属の欠陥補修	4-21
FM-4451 一般要求事項	4-21
FM-4452 表面欠陥の除去	4-22
FM-4453 溶接部補修に関する要求事項	4-22
FM-4453.1 欠陥の除去	4-22
FM-4453.2 溶接材料、施工法、溶接士または溶接オペレータに関する要求	事項 4-22
FM-4453.3 補修領域のならし	4-22
FM-4453.4 補修溶接の非破壊試験	4-22
FM-4500 機械接合	4-23
FM-4510 一般要求	4-23
FM-4511 ねじのかみ合い	4-23
FM-4512 ねじの潤滑	4-23
FM-4513 ねじの潤滑剤の除去	
FM-4514 ボルト締めフランジ継手	4-23

FM-4515 ボルトおよび座金の材質 4-23
FM-4520 ボルト締め
FM-4521 ボルト穴
FM-4522 ボルト接合 4-24
FM-4523 ボルト締め前の措置4-25
FM-4524 ボルト張力 4-25
FM-4525 ゆるみ止め装置4-25
FM-4525.1 ゆるみ止め装置の型式4-25
FM-4525.2 高強度締結装置の初期締付 4-26
FM-4525.3 高強度でない締結装置の初期締付 4-26
FM-5000 非破壞試験
FM-5100 非破壊試験に関する一般要求事項
FM-5110 非破壊試験の実施、認証および評価 5-1
FM-5111 一般要求事項 5-1
FM-5112 非破壞試験実施要領 ······ 5-1
FM-5113 非破壊試験後の洗浄
FM-5200 溶接部の非破壊試験5-2
FM-5210 一般要求事項5-2
FM-5211 溶接部の非破壊試験実施要領 5-2
FM-5220 突合せ溶接 5-3
FM-5230 完全溶込み角継手5-3
FM-5240 部分溶込みおよびすみ肉溶接継手 5-3
FM-5250 マグネットの非構造部材および補強材を取付ける溶接 5-3
FM-5260 特殊な溶接部5-3
FM-5261 板の厚さ方向の荷重が作用する溶接部に関する特別要求 5-3
FM-5262 角継手に関する特別要求 5-3
FM-5270 溶接部非破壊試験の要求事項一覧5-4
FM-5300 判定基準5-4
FM-5310 放射線透過試験の判定基準5-5
FM-5311 指示模様の評価-評価不要指示と思われる不完全部の処理5-5
FM-5312 合格基準および補修要求事項5-5
FM-5320 超音波探傷試験の判定基準5-5
FM-5321 ラミナー状の指示に対する合格基準5-5
FM-5330 浸透探傷試験の判定基準5-5
FM-5331 指示模様の評価5-5

FM-5332	合格基準	5-6
FM-5340	目視試験の判定基準	5-6
FM-5400 非	破壊試験作業者の認証	5-7
FM-5410 -	一般要求事項	5-7
FM-5420 ∌	ド破壊試験作業者の能力の証明	5-7
FM-5421	非破壊試験作業者の技能認証	5-8
FM-542	1.1 目視試験作業者の認証要領	5-8
FM-542	1.2 非破壊試験作業者の認証要領	5-8
FM-6000 耐	圧・漏れ試験	
	企 	6-1
	試験記録の保管	
	耐圧・漏れ試験の判定	
	耐圧部材の耐圧試験	
		
	気圧試験	
	気圧試験実施時の予防措置	
	耐圧試験の時期	
FM-6120 ₹	式験準備 ······	6-1
FM-6121	継手の暴露	6-1
FM-6122	耐圧試験の対象でない設備の隔離	6-2
FM-6123	試験媒体の膨張に対する予防措置	6-2
FM-6124	加圧前の試験設備の確認	6-2
FM-6200 気	圧 試験	6-2
FM-6210	気圧試験方法	6-2
FM-6211	一般要求事項	6-2
FM-6212	構造物の温度および試験媒体	6-2
FM-6213	加圧方法	6-2
FM-6220 5	気圧試験圧力要求	6-2
FM-6221	最小必要気圧試験圧力	6-2
FM-6222	試験圧力保持時間	6-2
FM-6230 ₹	届れ試験	6-3
	ヘリウム漏れ試験	
	1.1 清浄度	
FM-623	1.2 開口部	6-3
FM-623	13 温度	6-3

FM-6231.4 圧力/真空(圧力限度)6-3
FM-6232 校正用標準リーク6-3
FM-6232.1 透過型標準リーク6-3
FM-6232.2 キャピラリー型標準リーク6-4
FM-6300 耐圧試験ゲージ 6-2
FM-6310 耐圧試験ゲージに関する要求事項 6-2
FM-6311 使用すべきゲージの型と適用箇所6-4
FM-6312 圧力指示ゲージのレンジ6-4
FM-6313 校正-圧力/真空ゲージ
FM-7000 用語
FM-7100 一般要求事項に関する用語 ····································
FM-7110 序文7-1
FM-7120 定義7-1
FM-7200 材料に関する用語·······7-4
FM-7210 序文7
FM-7220 定義····································
FM-7300 設計に関する用語······7-6
FM-7310 序文7-6
FM-7320 定義7-6
FM-7400 製作に関する用語·······7-6
FM-7410 序文76
FM-7420 定義····································
FM-7500 非破壊試験に関する用語
FM-7510 序文7-8
FM-7520 定義····································